

12月報告書



常陸太田市地域おこし協力隊 ぶどう栽培 鈴木駿也

行った主な活動

■ トップジン（農薬）塗布

剪定した枝の切り口に刷毛を使ってトップジンを塗った。トップジンは殺菌乾燥防止剤で、枝の切り口からの菌の侵入や枯れ込みを防ぐ効果がある。



■ シアナミド（農薬）散布

休眠打破剤のシアナミドを噴霧器を使って散布した。芽に散布することで、7～10日程度、発芽が早くなり、収穫の早期化が期待できる。

シアナミドが体内に入ると、二日酔いのような症状が出るため、使用前日の飲酒は控える必要があると知り、農薬を使用する際は説明書をよく読み、十分注意しなければならないと思った。



活動を行った感想など

薬剤を使用する際は、作用する原理や、体や環境への副作用などを調べ、より効果的な使い方ができるようにしていく。

冬は、害虫や病原菌を如何に越冬させないかということも重要なポイントになるので、研修先の取り組みに注目していきたい。

日が沈むのが早くなり、作業時間が短くなるので、本や動画で剪定の予習や、夏の栽培管理技術などの勉強をする時間を作る。

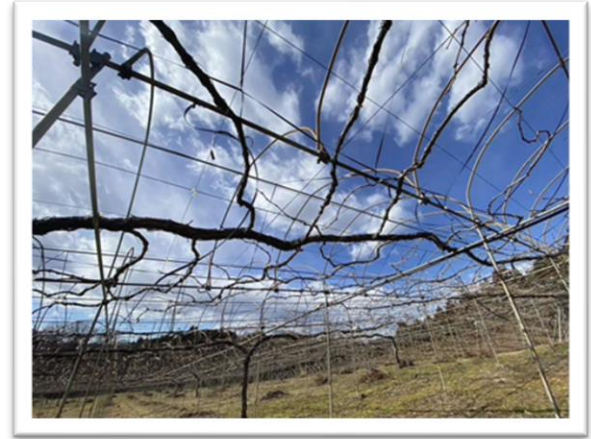
1月報告書

常陸太田市 地域おこし協力隊
ぶどう栽培の担い手 鈴木 駿也

行った主な活動

■ 剪定

長梢剪定は樹勢の抑制に有効で、巨峰や常陸青龍の栽培に適している。しかし、適切な枝の選定と切る長さを判断するには長年の経験が不可欠である。座学だけでは実践が難しく、初日は師匠の剪定を見てイメージし、指導を受けながら大まかな理論を理解することができた。



■ マイカー線付け直し

マイカー線はタヌキやハクビシンなど害獣に齧られて切れてしまっていたり、風で擦れてボロボロになってしまっていたので付け直しをした。

害獣にまた齧られないように水道のホースでマイカー線を覆い対策をした。



■ 二重被覆のビニール貼り

ハウスの内側にビニールを二重張りにすると、加温機の効率が上がる。気温が低い日や夜間でもハウス内の温度をぶどうの生育の適正温度に保ち、霜対策にもなる。

内側のビニールは、3月から4月頃までしか使わないので、外側よりも低コストな素材で、着脱も簡単な作りにした。

※マイカー線はビニールが雨や風からめくれるのを防ぐためのもの

活動を行った感想など

長梢剪定は、農家さんそれぞれで考え方もやり方も全く違う。正解はないけれど、なんとなくで切っている人も多い。植物生理をしっかりと勉強して、正しくかつ自分に合ったやり方を追求していきたい。

マイカー線は、せっかく付けても齧られてしまっただけは無駄な作業になってしまうので、違う素材の紐を探したり、獣が近寄らない対策を考える必要があると思った。



2月報告書

常陸太田市 地域おこし協力隊
ぶどう栽培の担い手 鈴木 駿也

行った主な活動

短梢剪定

短梢剪定は、毎年決まった場所で枝を短く切り、同じ場所から枝を伸ばす剪定方法で、一列にまっすぐ枝が伸びているので、管理がしやすく、剪定も容易にできるのがメリット。

シャインマスカットなどの大粒種無しの品種は短梢剪定が主流になっている



剪定枝の粉碎

剪定して出た大量の枝を、粉碎機で細かく砕いた。粉碎した枝のくずは、有機質の肥料になるが、枝には病原菌が残っている可能性があり、湿度が高い加温ハウス内に枝を残すと感染源になってしまうため、粉碎した枝は風通しの良い雨除けハウスに散らした。



マイカー線付け直し

1月と同様。

CX-10散布

農薬を散布した。

活動を行った感想など

短梢剪定は、ある程度簡単なので流れ作業になってしまいがちだが、油断していると残す芽数を間違えたり、伸ばす予定の枝を間違えて切ってしまうたりとミスが起こりやすいので、切る前に必ず品種の確認と全体を見て伸ばす枝を確認するように気をつけた。



3月報告書

常陸太田市 地域おこし協力隊
ぶどう栽培の担い手 鈴木 駿也

行った主な活動

主枝の紐縛り

今年新しく伸ばした枝と、過去に縛った紐がキツくなっていた部分を、枝がまっすぐになるように麻紐でパイプに沿わせて縛った。

曲がっている枝も多く、全体をまっすぐにするのはかなり難しかった。

皮剥き

樹と皮の間に虫が越冬している可能性があるため、樹に残っている古い皮をナイフで剥いた。巨峰系の品種は皮がボロボロで剥きやすい、シャインマスカットはくっついていて剥きづらいなど品種によって違いがあるのが面白いと思った。



雨除けハウスのビニール張り

雨除けのビニール張りは今回が初めての経験だったので、動きに慣れるまでに時間がかかった。特に風が強い日は、ビニールが煽られてしまって留めるのが大変だった。

ビニール張りは、各地域で決まったやり方と流れがあり、それぞれのメリットとデメリットがあって勉強になった。



活動を行った感想など

ビニール張りは1人では難しく、自分の畑のビニールを張り替える場合は人手を借りる必要がある。忙しい時期に人の時間を借りるわけなので、スピーディーに仕事が進むように事前の段取り、指示出し、気遣いもしなければいけない。とても大変なので、研修のうちに全体の流れや細かいポイントをしっかりと抑えておくようにする。

今後の目標など

- ・新しい研修先が変わったので、また一からいろいろな知識を吸収していきたい。
- ・耕作放棄地を借りることができたので、整備を進める。



4月報告書

常陸太田市 地域おこし協力隊
ぶどう栽培の担い手 鈴木 駿也

行った主な活動

■ 巨峰誘引

テープナーを使って枝を棚線に縛る作業をした。誘引をすることで、枝同士が被るのを防いだり、空いたスペースに枝を動かして埋めることができた。新梢が伸びることを想像しながら枝の配置を考えるのがとても難しかった。



■ ジベレリン処理1回目

ジベレリン処理は種無しぶどうを作るための重要な作業で、水にジベレリン粉末を溶かした液を、花穂という実の部分に漬けて行った。

花が満開になった日から3日以内が適切な処理のタイミングと言われていて、この作業が遅れると、実に種が入ってしまう。すべての花が同じタイミングで咲くわけではないので、毎日1房ずつ確認する必要がある、とても手間と時間がかかった。



活動を行った感想など

※長梢栽培（ちょうしょうさいばい）
枝を長く残して樹勢を抑える栽培方法

4月頭に芽が出て、暖かくなってきたと思ったら、すぐに枝が伸びてハウス内が緑で覆い尽くされた。毎年のことだが、植物の生育スピードの速さに驚かされる。また、初めての長梢栽培で慣れない作業が多いが、その分学びも多くあり勉強になっている。

今後の目標など

借りている畑について、4月から本格的に整備を進め、ジャングルのような状態から少し片付いた。整備は想像通り大変で、なかなか終わりが見えず途方に暮れていたが、綺麗になっていくにつれて、通りがかった人が声をかけてくれるようになった。近所の農家の方が気にかけてくれて、必要な機械を貸してくれたり、地域の集まりの時に皆んなで手伝おうと言ってくれたりしたようで、とてもありがたかった。手を貸してくれる方の協力を得ながら、来年には苗を植えられるように頑張りたい。



5月報告書

常陸太田市 地域おこし協力隊
ぶどう栽培の担い手 鈴木 駿也

行った主な活動

花切り

ぶどうの花は開花し始めた頃に、だいたい10cmくらいの長さになる。そのまま大きくなると、実の数が多すぎて、花がポロポロと落ちてしまう花振りという現象がおきたり、小さな酸っぱい粒がたくさん付いたぶどうになり、売り物にならなくなってしてしまう。そこで、花穂上部の花を切って先端4cmだけを残し、粒の数を制限することで、一粒一粒が大きく甘くなっていく。



摘芯

ぶどうはツル性の植物で、放っておくと枝が何メートルも伸び続けてしまい、実よりも枝の成長に養分が使われてしまう。枝を短く切ることで、成長を抑制し、実に養分を送ることができる。切る長さは、品種ごとに残す葉っぱの枚数で決めている。



活動を行った感想など

今月は市外の農園を視察し、花切りや摘芯のやり方、次に来る品種などの情報交換をし、とても有意義な時間となった。視察先は、県内でもトップレベルの売上を誇る農園で、立派なハウスや直売所に驚かされた。自分は独立してやっていけるのか、まだまだ不安だらけだが、頑張り次第ではこうなれるんだという希望を少し持つことができた。ただ、自分はゼロからのスタートであり、長年の経験や基盤がある人と同じ土俵では勝てないからこそ、新規参入者の小さい農業でも勝ち抜いていける経営を目指していきたいと思った。

今後の目標など

水府地区に借りている畑については、整備を進める中で、棚線やパイプなどに修繕が必要な箇所が見つかり、栽培できる状態にするまでにさらに時間と費用がかかるため、整備は一旦保留とした。

農業において土地選びはとても重要なため、市内の農地状況の情報を収集しながら、立地、設備など今後の経営を見据えて慎重に判断していきたい。

